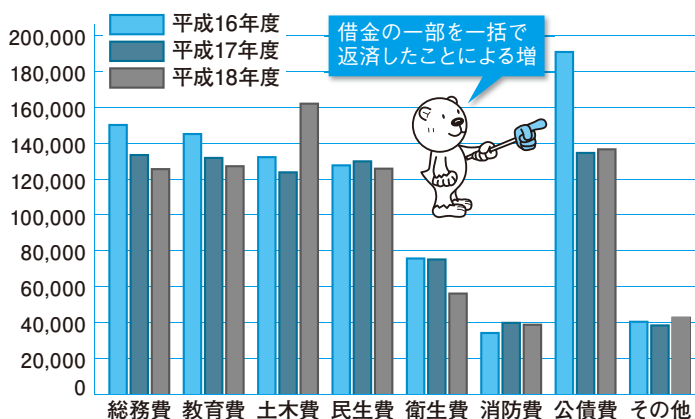


支出における各費目の3年間比較表

(単位:万円)



この分け方は法律で定められているんだよ。各分野ごとの詳しい経費内容は下の説明を読んでもね。
3年間を比較すると土木費が増えているけど、これは葉山地区に町営住宅を建設したからだよ。それ以外の経費はほとんど前の年から減っているからね。
公債費は少し増えているけど、前に借りたお金の元金返済がスタートしたからなんだ。



なるほどお。
このグラフを見ると年度ごとで、どこにお金を多く使っているかがわかるね。
でも、総務費や教育費とかの分野って、よくわからないな…。

借金の一部を一括で返済したことによる増



各分野ごとの仕事の内容

- 総務費 …… 町の総務的業務経費 (窓口・選挙・企画・行革・情報政策・防犯・交通安全など)
- 教育費 …… 小・中学校の各種経費や社会教育、スポーツ振興業務経費など
- 土木費 …… 道路・公園・町営住宅の整備や管理業務経費など
- 民生費 …… 社会・老人福祉業務や児童福祉業務経費など
- 衛生費 …… 保健衛生経費や老人保健、環境衛生、浄化槽経費など
- 消防費 …… 消防行政経費や防災行政経費など
- 公債費 …… 公共施設(道路・公園・庁舎・体育館・小・中学校など)の借金を返済する経費
- その他 …… 議会経費、労働経費、農林水産業経費、商工費など



すごい質問だね！
じゃ、今まで見てきたのは町が使ったお金のことだから、次は税金などが入ってきている内容を詳しくみてみましょう。



じゃ、町の人達が払った税金って何に使われたの？



ちなみにこの各分野ごとの経費は、町のみならず「住んで良かった」と思ってもらえるようにと、貴重な税金を無駄が無いように大切に使う結果なんだ。



地方交付税は、みんなが払う所得税や法人税、酒・たばこ税、消費税をいったん国で集め、そこからいろいろな計算方法で国から県や市町村へ一部が分配されてるんだよ。



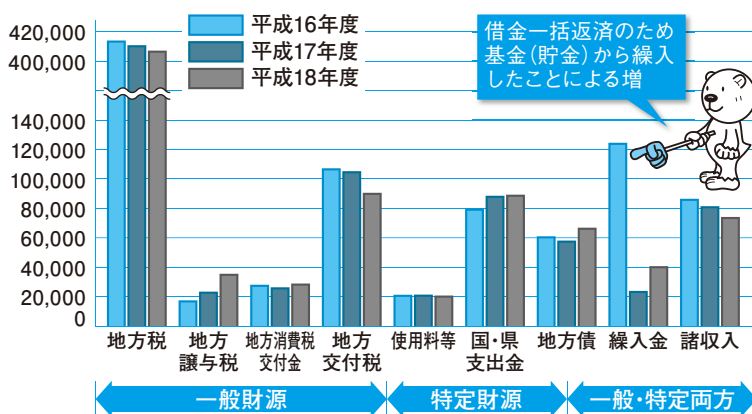
右のグラフの地方交付税が減っているけどこれも税金なの？



税金には様々な種類があって、町に入る分と国や県に入る分があるんだよ。例えば、町民税や固定資産税などは町に入る分、所得税や酒税、法人税などは国に入る分なんだ。

収入における各費目の3年間比較表

(単位:万円)



借金一括返済のため基金(貯金)から繰入したことによる増



← 一般財源 | 特定財源 | 一般・特定両方 →



じゃ、次の表で代表的な事業のお金の内訳をみてみよう！



そっか！
町の人達が払った町に入る税金は一般財源なんだね！でも、まだ町の税金がどんな事業に使われているかわからないなあ…。



入ってくるお金で使いたい道が決まっているものを特定財源、町の意思で使いたい道を選んでいるお金(地方税など)が一般財源なんだ。
国の補助事業で例えると、この事業をするならこの位のお金を交付するって決まってるって、使いたい道がこの事業に特定されてるよね。だからこの場合、国から交付される国庫支出金は特定財源ってことになるんだよ。
ちなみに税金のほとんどは、一般財源なんだ。



なるほど。色んな制度変更により、町に入ってくるお金も変わってるんだね。
ところで、表の一般財源と特定財源ってどういう意味？



それで、地方交付税が減った理由は、国で税源の一部を市町村に渡す代わりに、地方交付税や国庫補助金を削減したからなんだ(三位一体改革)。
その代わり、平成十九年度から始まる国から市町村への税源移譲の前に、一時的にお金を移譲したのが地方譲与税(所得譲与税)なんだ。だから、地方譲与税がグラフのとおり増えたんだよ。